

# 在宅医療・介護多職種連携協議会 研修部会 ～報告～

## 目 的

在宅医療に係る多職種連携の推進のための研修体制について検討する。

- 顔の見える関係会議の内容について検討
- その他の研修（各団体主催研修会の連携・調整など）について検討

## <令和5年度> 部会内容

### 第1回部会

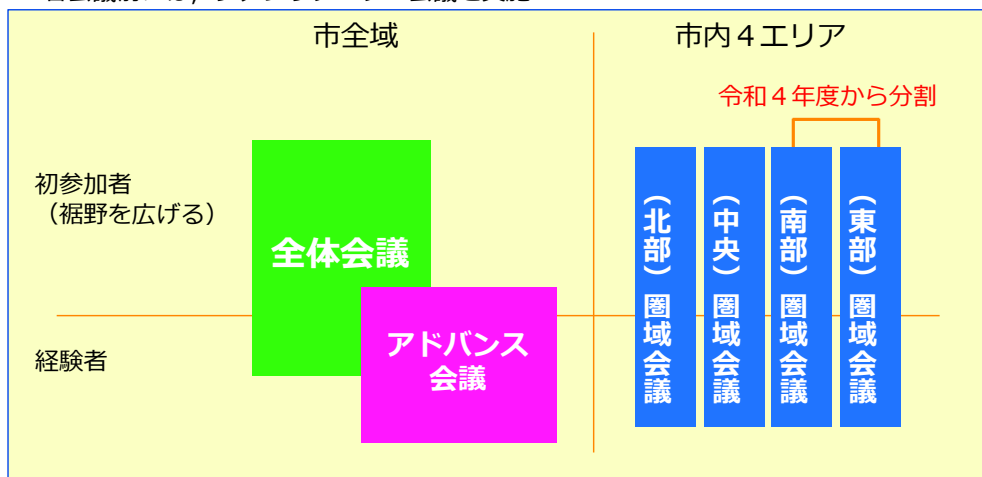
(令和5年5月30日)

- 議事 1. 令和5年度 顔の見える関係会議について  
2. 意思決定支援eラーニング教材を活用した研修について
- 報告 令和5年度 各団体の研修会予定一覧

1

## 議事1. 顔の見える関係会議について —令和4年度の実施状況—

\*各会議前には、ファシリテーター会議を実施



### ■全体会議

コロナ禍での支援～多職種連携を踏まえた情報共有について考える～  
参加者数：103名

### ■圏域会議

認知症や閉じこもりの方への支援～コロナ禍において地域でどう支えるか～  
参加者数：196名（北部65名，中央42名，南部51名，東部38名）

### ■アドバンス会議

コロナ禍でのシームレスな入退院時連携に向けて  
参加者数：131名

\*令和4年度は全てZoomでの開催

2

令和 5 年度第 1 回研修部会でのご意見

- 新型コロナウイルスも 5 類になった。直接顔を合わせて話すことによる繋がりやすさもあるので、参集会議を実施しても良いと思う。
- オンライン会議は、移動等による負担がなく気軽に参加できるメリットがある。オンラインでの実施も継続してほしい。
- 参集会議を行う場合は、体調不良者は出席をご遠慮いただくなどのルールは必要だと思う。

令和 5 年度の方向性 (予定)

■ **全体会議** : 参集会議

■ **圏域会議** : 参集会議

|    | エリア座長     | 担当包括                 |
|----|-----------|----------------------|
| 北部 | 星野先生      | 北部, 北部第 2, 北柏, 北柏第 2 |
| 中央 | 織田先生      | 西口, 西口第 2, 東口, 東口第 2 |
| 南部 | 平野 (圭) 先生 | 南部, 南部第 2, 光ヶ丘       |
| 東部 | 石橋先生      | 沼南                   |

■ **アドバンス会議** : オンライン会議

3

議事 1. 顔の見える関係会議について —令和 5 年度のテーマ—

令和 5 年度第 1 回研修部会にて、今年度の顔の見える関係会議のテーマについて協議しました。

| 全体会議   | 圏域会議   | アドバンス会議   |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• 認知症 (意思決定支援)<br/>⇒包括への相談も多い。参加者にとっても身近な疾患</li> <li>• 神経難病 (ミニ講義付き)<br/>⇒神経難病はこれまでとりあげたこともあまりない。関わる中で意思決定支援に迷うこともある</li> <li>• 多職種を知る<br/>⇒全体会議は初参加者も多いことを考えると、疾患以外のテーマでも良いのではないか</li> <li>• 介護の現場における人材確保 (人材不足)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• BCP (業務継続計画)</li> <li>• 老老介護, 独居高齢者</li> <li>• 食・栄養の支援</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 災害</li> <li>• 医療との連携</li> <li>• 意思決定支援</li> <li>• BCP (業務継続計画)</li> <li>• 小児在宅<br/>⇒参加者の募集が難しいか</li> <li>• ハラスメント</li> <li>• 身体拘束 (スピーチロック)</li> </ul> |

上記のご意見を踏まえて、以下のとおり全体会議を実施することになりました。

日 時 : 令和 5 年 7 月 27 日 (木) 19 時から

テーマ : 神経難病と意思決定支援

場 所 : 柏地域医療連携センター 1 階 研修室

## 議事2. 意思決定支援 eラーニング教材を活用した研修について 一概要一

コロナ禍で集合型研修が実施できない中でも、本人の意向を尊重した医療・介護ケアをおこなうために、**意思決定支援 eラーニング教材**の作成を進めています。

### ■目的

- ・意思決定支援とはなにか、専門職が支援することの必要性・大切さを理解することができる
- ・日々の支援の中で、各職種ができることを知り、実践につなげることができる

### ■対象

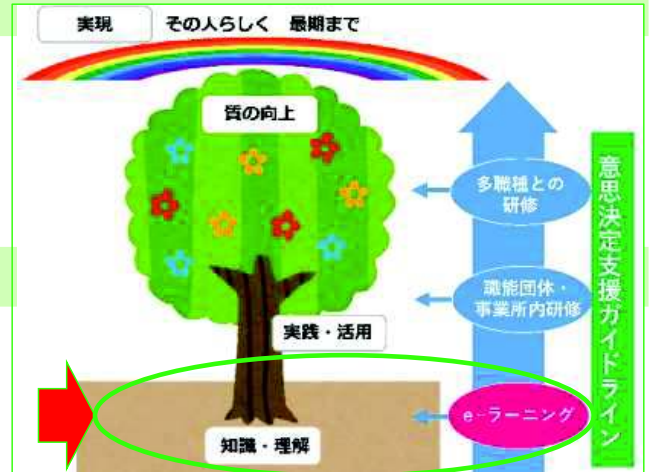
- ・柏市で働く医療・介護の専門職（特に意思決定支援の経験が少ない方）

### ■コンセプト

- ・意思決定支援ガイドラインがベース
- ・簡単にアクセスできる（柏市HPに公開）
- ・短時間で受講できる構成
- ・実際の支援の場面を映像やイラストで紹介する

### ■活用方法

- ・柏市ホームページで限定公開  
（対象者にはURLを通知することで閲覧可能）
- ・事後アンケートを実施して、効果を検証



5

## 議事2. 意思決定支援 eラーニング教材を活用した研修について 一構成一

|           |   |  |   |  |          |  |       |                            |    |  |     |                         |     |
|-----------|---|--|---|--|----------|--|-------|----------------------------|----|--|-----|-------------------------|-----|
| 8分<br>導入編 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・意思決定支援とはなにか</li> <li>・社会的背景について</li> <li>・どうして意思決定支援が必要なのか</li> <li>・本人や家族に対する効果と、専門職にとってのメリット</li> </ul>   |  |   |  |          |  |       |                            |    |  |     |                         |     |
|           | <b>在宅編 (合計 約1時間30分)</b>   |  |   |  |          |  |       |                            |    |  |     |                         |     |
|           | ～Tさん 老衰看取りの場合～  |  |   |  |          |  |       |                            |    |  |     |                         |     |
|           | ケース紹介 (4分)  | ・家族構成    ・利用サービス    ・支援サマリ   |   |  |          |  |       |                            |    |  |     |                         |     |
| 事例からの学び   | 個別インタビュー (10分×7)  | <b>&lt;支援者&gt;</b><br>①訪問診療医    ②訪問看護師<br>③ケアマネジャー ④ヘルパー<br>⑤訪問入浴    ⑥福祉用具 | ・心に残るエピソード<br>・うまくできたこと、うまくできなかったこと、その要因<br>・意思決定支援で大切にしていること |  |          |  |       |                            |    |  |     |                         |     |
|           | 座談会 (10分)   | <b>&lt;当事者&gt;</b><br>⑦家族  | ・自宅で看取中での思い<br>・多職種の関わりについて感じたこと                              |  |          |  |       |                            |    |  |     |                         |     |
|           | 振り返りの機会の効果<br>・ケアの質の向上につながる<br>・多職種間の相互理解とチームアプローチの重要性への理解<br>・支援者の学びの機会  |  |   |  |          |  |       |                            |    |  |     |                         |     |
| まとめ (2分)  | Tさんの事例からの学びを、ガイドラインと結び付けて紹介   |  |   |  |          |  |       |                            |    |  |     |                         |     |
| 実践ツール     | ・意思決定支援ガイドライン<br>・振り返りカンファレンスの進め方(例) 等  |  |   |  |          |  |       |                            |    |  |     |                         |     |
|           | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: #add8e6; text-align: center;">施設編</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">～特養での場合～</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #add8e6; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ケース紹介</td> <td>                     ・家族構成<br/>                     ・利用サービス<br/>                     ・支援サマリ                 </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #add8e6; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">未定</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="background-color: #add8e6; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめ</td> <td>                     事例からの学びを、ガイドラインと結び付けて紹介                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; background-color: #add8e6;">作成中</td> </tr> </table> |  | 施設編   |  | ～特養での場合～ |  | ケース紹介 | ・家族構成<br>・利用サービス<br>・支援サマリ | 未定 |  | まとめ | 事例からの学びを、ガイドラインと結び付けて紹介 | 作成中 |
| 施設編       |   |  |   |  |          |  |       |                            |    |  |     |                         |     |
| ～特養での場合～  |   |  |   |  |          |  |       |                            |    |  |     |                         |     |
| ケース紹介     | ・家族構成<br>・利用サービス<br>・支援サマリ  |  |   |  |          |  |       |                            |    |  |     |                         |     |
| 未定        |   |  |   |  |          |  |       |                            |    |  |     |                         |     |
| まとめ       | 事例からの学びを、ガイドラインと結び付けて紹介   |  |   |  |          |  |       |                            |    |  |     |                         |     |
| 作成中       |   |  |   |  |          |  |       |                            |    |  |     |                         |     |

## 議事2. 意思決定支援 eラーニング教材を活用した研修について —教材の活用方法・内容の検討—

事業所や職能団体ごとに、eラーニング・ガイドラインを活用した研修会を行う場合の、**効果的かつ実施可能な方法・内容**について協議しました。

- Point**
- ・意思決定支援の必要性を理解し、実践につなげることができる。
  - ・意思決定支援の経験が少ない方でも気軽に研修開催及び受講ができる。

### 令和5年度第1回研修部会でのご意見 「研修する上での工夫点」

- 個々で視聴する方法が良い
  - ・ 空き時間に視聴できる、集まらなくても学べるのがeラーニングの良さではないか
  - ・ 期日を設けて視聴してもらう
  - ・ 視聴を義務化すると、興味を持って見てもらうことができないのではないか
  - ・ お看取りの後や、意思決定支援で悩んだ時など、視聴するタイミングが大切だと思う
  - ・ 事業所ごとに時間をとって、参集で研修をするは難しいのではないか
- 事業所内での研修をやるのであれば、1時間程度のパッケージがあると良い
- 確認テストやインセンティブがあると良い

上記のご意見を踏まえて、研修の実施に向けて取り組んでいきます。

7

## 事務連絡

### ■ 研修部会

- ・ 第2回：令和6年2月16日（金） 19時～

### ■ 顔の見える関係会議

- ・ 全体ファシリテーター会議（参集予定） 令和5年7月10日（月） 19時～
- ・ 全体会議（参集予定） 令和5年7月27日（木） 19時～
- ・ 合同ファシリテーター会議（参集予定） 令和5年9月11日（月） 19時～
- ・ 圏域会議（参集予定） \*今後、エリア毎に日程を決定します。
- ・ アドバンスファシリテーター会議（オンライン予定）  
令和6年1月15日（月） 19時～
- ・ アドバンス会議（オンライン予定） 令和6年2月2日（金） 19時～

8